



H30年度 第4号
H30年7月 2日

たから ぼこ 宝 箱



～ 災害だ！ その時あなたはどう動くか！ ～

6月18日（月）の児童生徒の登校時間に、大阪で震度6弱の地震が発生しました。その時の岐阜市加納は、震度3でした。

私はその時間、交通指導のため、学校正面の道路に立っていました。一瞬、横風が「ふわっ」と吹き、その時は「横風何て珍しいなあ」くらいにしか感じませんでした。そのすぐ後に、足元がかすかに揺れたことで「地震」とわかりました。

震度3くらいの揺れは、建物の中だと感じやすいですが、屋外や車内に居ると感じにくいことが多いようです。しかし、先日の地震でも被害があったように、外に居ても被害を受けることがあります。



そこで、大切な事は『自分の命を守るために、災害が起きたとき、どのような行動をとることができるか』です。

そのような中、22日（金）5限目に、小学部5年生以上の児童生徒を対象として、防災学習会を行いました。講師に、岐阜

大学の村岡先生を招き、地震・洪水等が起きた時を想定して、通学路や自宅周辺の危険箇所「校外DIG」について学習会をしました。通学路や自分の家の周りの危険箇所を調べたり、なぜ危険なのかについて話しを聞いたりしました。自分の命を守るための必要な知識等について学ぶよい機会となりました。



～ 引き渡し訓練 ありがとうございました ～



6月22日（金）に、引き渡し訓練を行いました。今年は、幼児児童生徒全員を対象とした引き渡しを実施しました。引き渡し訓練は、次のような流れで実施しました。

- ①すぐメールにて、引き渡し時刻の確認
- ②学校東側道路で、引き渡し者の確認
- ③学校正面で、児童生徒の引き渡し
- ④帰宅後、帰宅時刻の送信

当日、ほとんどのご家庭が「15時」のお迎えでしたが、混雑することもなく、スムーズに引き渡しをすることができました。

もし、実際に災害が起きた場合は、このようにスムーズにいくとは限りません。今後は、学校でも色々な状況を想定しながら対応していく必要があると感じています。

今回の訓練を実施し、保護者の方々からのご意見・ご感想もいただきながら、迅速かつ安全に引き渡しができるよう体制を整えていきたいと思っております。



【可能性は∞（無限大）】

金澤翔子さんという方をご存知でしょうか？では、書家の金澤祥子さんといったらわかるでしょうか？

7月1日（日）に、岐阜県LD等親の会れんげの会 30周年記念大会として、養老町で「ダウン症の娘と共に生きて」と題して、母親の金澤泰子さんと娘の翔子さんによる講演会がありました。

母親の泰子さんは、翔子さんを生んでから、死を考え、自身の日記に様々な死に方を考えメモをしたことや、子育てをするうえでの苦悩等を語られました。そんな中、亡くなられた旦那様が残された「翔子は書写が上手い」という言葉が転機となり、20歳に個展を開き、本格的に書道の道に。また、翔子さんのピュアで雑念の無い心で表現される文字が、見る方々の心を揺り動かし、『書家金沢翔子』が現在に至ってます。

翔子さんは、現在33歳。三年前から一人暮らしをして、社会自立を果たし、毎日楽しい日々を過ごしているとのこと。この日は、「共に生きる」の文字を力強く書き、見ている私たちにエネルギーを与えてくれました。

素子さんは、33年前に悲しみに暮れた日記から、現在では、子どもの成長を喜ぶとともに翔子さんのもつ無限大の可能性を応援する一人として娘と共に成長していったことを嬉しそうに話されていました。

障がいの有る無しに関わらず、人間誰しもが何かしらの力を秘めているものです。その力を発揮できるかは、環境もあるでしょうが、精一杯取り組むことに尽きるようです。



【お知らせ】

◎小学部のキャリア教育について、「ろう学校だより」に情報を挙げてあります。◎7月2日（月） 不審者対応教室

岐阜南警察署「たんぼぼ班」による学習会を実施しました。

一人一人に、クリアファイルをいただきました。ご家庭でも安全の5つの約束についてご確認ください。

◎ 2日（火） 水泳実習（午後）の予定でしたが、加納小学校のプールが使用できませんでした。そのため、低学年、重複障がい学級の児童は、幼稚部のプールを借りて、水に慣れる学習をしましたが、高学年は、実習ができませんでした。申し訳ございません。今後実習日を増やせるかどうか、加納小学校に確認をします。

- ◎ 3日（火） 加納小学校交流
- ◎ 5日（木） 水泳実習（午後）
- ◎ 9日（月） 水泳実習（午後）
- ◎ 12日（木） 水泳実習（午後）
- ◎ 20日（木） マリンバ演奏鑑賞会・1学期終業式

